

OXIDE

株式会社オキサイド

2026年2月期 第2四半期

決算補足説明資料

2025年10月15日

東証グロース:6521

豊かな未来を 光の技術で実現する

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

Agenda

OXIDE

- 01. 2026年2月期 第2四半期決算 連結業績
- 02. 事業別業績 [半導体・ヘルスケア・新領域]

2026年2月期 第2四半期決算ハイライト



	売上高	営業損益	EBITDAマージン
第2四半期	23億63百万円 予想比 +2億1百万円 前年同期比 +3億53百万円	▲1億17百万円 予想比 ▲3億82百万円 前年同期比 ▲1億27百万円	4.6% 予想比 ▲17.6% 前年同期比 ▲9.4%
上半期	41億51百万円 予想比 +1億74百万円 前年同期比 +7億52百万円	▲1億89百万円 予想比 ▲2億40百万円 前年同期比 +2億6百万円	6.3% 予想比 ▲5.9% 前年同期比 +2.3%

こちらが2026年2月期 第2四半期決算ハイライトです。
売上高は予想を上回りましたが、営業損益については、イスラエル情勢を受け、予想を下回りました。
詳細は次のページからご説明いたします。

2026年2月期 上半期実績



- 売上高 41億5,100万円(予想対比1億7,400万円増収、前年同期比7億5,200万円増収)
- 営業損失 1億8,900万円(予想対比2億4,000万円減益、前年同期比2億600万円増益)
- 通期業績予想達成に向けて複数の予算外案件に取り組んでおり、通期業績予想に変更はございません。

(単位:百万円、%)

項目	26年2月期 1Q※1			26年2月期 2Q			26年2月期 上半期			(参考) 25年2月期 上半期	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比			
売上高	1,814	1,787	▲ 26	2,162	2,363	+ 201	3,976	4,151	+ 174	3,398	+ 752	8,713
営業損益	▲ 215	▲ 72	142	265	▲ 117	▲ 382	50	▲ 189	▲ 240	▲ 396	+ 206	409
(営業利益率)	▲11.9%	▲4.0%	7.8%	12.3%	▲5.0%	▲17.2%	1.3%	▲4.6%	▲5.8%	▲11.7%	+ 7.1%	4.7%
研究開発費	337	465	127	282	241	▲ 41	620	706	+ 86	627	+ 79	1,330
EBITDA※2	6	154	147	479	108	▲ 370	486	263	▲ 222	136	+ 126	1,278
(EBITDAマージン※3)	0.4%	8.6%	8.3%	22.2%	4.6%	▲17.6%	12.2%	6.3%	▲5.9%	4.0%	+ 2.3%	14.7%

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※1 「26年2月期」は「2025年3月～2026年2月」の会計年度を指します。
※2 EBITDA:営業利益に償却費(減価償却費・のれん償却等を含む)を加えた数値 ※3 EBITDAマージン:EBITDA÷売上高

2026年2月期の上半期実績についてご説明いたします。

売上高は、41億5,100万円となりました。予想対比1億7,400万円増収、前年同期比7億5,200万円増収です。

営業損失は、1億8,900万円となりました。予想対比2億4,000万円減益、前年同期比2億600万円増益です。

通期業績予想達成に向けて複数の予算外案件に取り組んでおり、通期業績予想に変更はございません。

上半期連結営業損益内訳



■ 上半期連結営業損益の内訳は、オキサイド単体で予想を上回りましたが、Raicol社で2億2,800万円下回りました。

[Raicol社営業損益 予想比の内訳]

1. 紛争の影響による製造コスト増
- : ▲約70百万円
2. 紛争の影響による研究開発補助金の下半期ずれ込み
- : ▲約65百万円
3. 不買運動拡大による売上減少とイラン衝突による期ずれ
- : ▲約50百万円
4. 過年度の売掛金回収難航による引当金計上
- : ▲約40百万円

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 上半期		
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比
連結営業損益※1	▲ 215	▲ 72	+ 142	265	▲ 117	▲ 382	50	▲ 189	▲ 240
OXIDE単体	▲ 66	168	+ 235	344	143	▲ 200	277	312	+ 35
Raicol	▲ 47	▲ 111	▲ 63	▲ 9	▲ 174	▲ 164	▲ 57	▲ 285	▲ 228
OPC※2	▲ 100	▲ 126	▲ 25	▲ 69	▲ 69	▲ 0	▲ 169	▲ 196	▲ 26

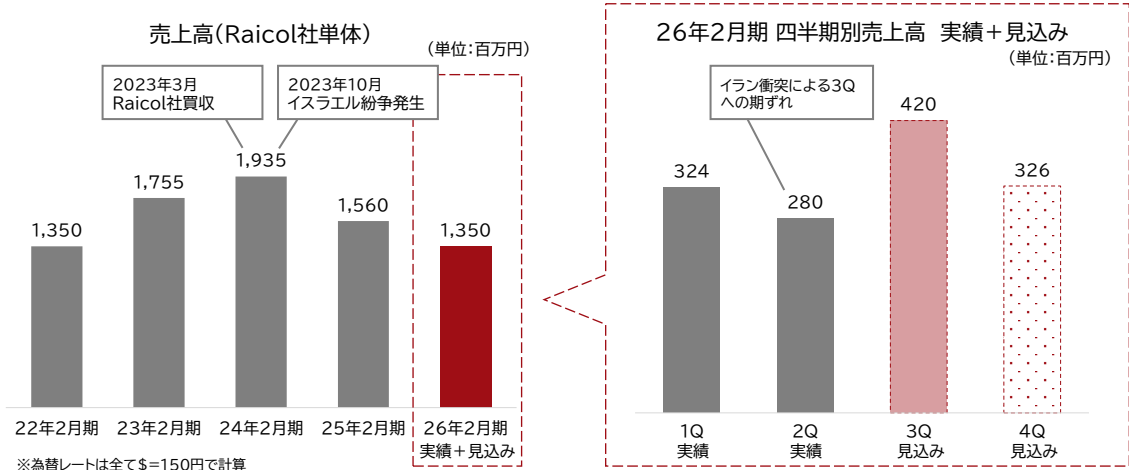
Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※1 連結と各内訳数字合計の差異は、連結調整によるものです。
※2 OPC:当社100%子会社で、SiC事業に取り組むオキサイドパワークリスタル社の略称です。

上半期連結営業損益の内訳は、オキサイド単体で予想を上回りましたが、Raicol社で2億2,800万円下回りました。

Raicol社単体 売上高

OXIDE

- Raicol社の売上高は、2023年10月に発生した紛争を勘案して予想しておりましたが、2025年6月に発生したイラン衝突の影響を受け、第3四半期への期ずれが発生いたしました。
- 依然としてイスラエル情勢は不安定なため、売上水準の回復については慎重な見方をしております。



Raicol社の売上高は、2023年10月に発生した紛争を勘案して予想しておりましたが、2025年6月に発生したイラン衝突の影響を受け、第3四半期への期ずれが発生いたしました。

依然としてイスラエル情勢は不安定なため、売上水準の回復については慎重な見方をしております。

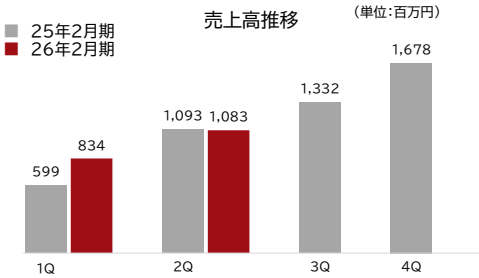
半導体 | 売上高

OXIDE

- 半導体事業の上半期売上高は、19億1,800万円となりました。
- 予想対比では概ね堅調に推移しております。
- 前年同期比では2億2,500万円の増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 上半期			(参考)	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	25年2月期 上半期		
売上高	890	834	▲ 55	1,068	1,083	+ 15	1,959	1,918	▲ 40	1,693	+ 225	4,555



半導体ウエハ欠陥検査装置に用いる当社の製品群

光学単結晶

深紫外レーザー

半導体ウエハ欠陥検査装置

イメージ写真

事業別の業績についてご説明いたします。

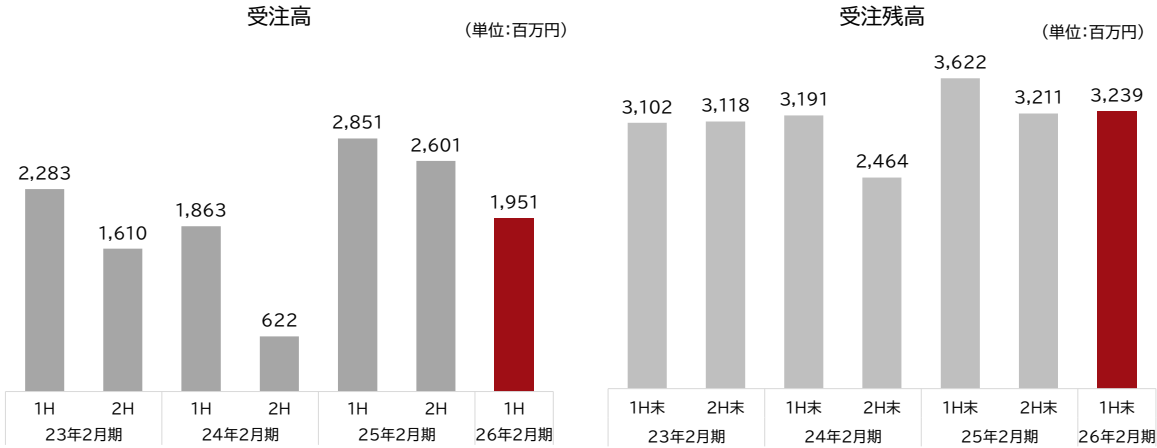
まず、半導体事業の上半期売上高は、19億1,800万円となりました。

予想対比では概ね堅調に推移しております。前年同期比では2億2,500万円の増収となりました。

半導体 | 受注高・受注残高



- 2026年2月期 上半期の受注高は、19億5,100万円となりました。
- 2026年2月期 上半期末時点の受注残高は、32億3,900万円となりました。



2026年2月期 上半期の受注高は、19億5,100万円となりました。
上半期末時点の受注残高は、32億3,900万円となりました。

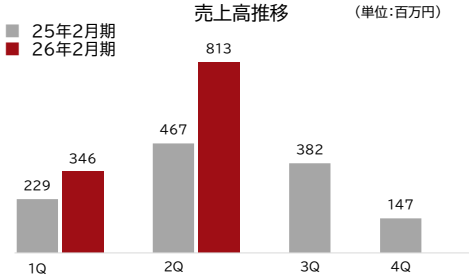
ヘルスケア | 売上高

OXIDE

- ヘルスケア事業の上半期売上高は、11億6,000万円となりました。
- 新規顧客である高性能PETトップメーカーへの出荷の本格化および前期からの期ずれが寄与し、予想対比1億7,300万円増収、前年同期比4億6,300万円の増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 上半期			(参考)	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	25年2月期 上半期		
売上高	401	346	▲ 55	584	813	+ 229	986	1,160	+ 173	696	+ 463	2,170



ヘルスケア事業についてご説明いたします。

ヘルスケア事業の上半期売上高は、11億6,000万円となりました。

新規顧客である高性能PETトップメーカーへの出荷の本格化および前期からの期ずれが寄与し、予想対比1億7,300万円増収、前年同期比4億6,300万円増収となりました。

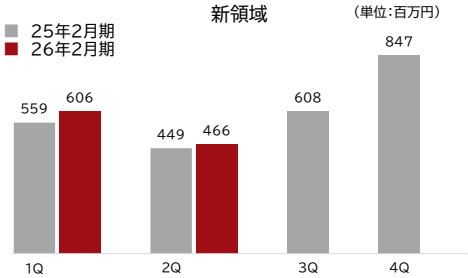
新領域 | 売上高

OXIDE

- 新領域事業の上半期売上高は、10億7,200万円となりました。
- 予想対比4,100万円の増収、前年同期比6,300万円の増収となりました。
- Raicol社の売上高減少分は、オキサイド単体の新領域事業の売上高で補いました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 上半期			(参考)	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	25年2月期 上半期		
売上高	521	606	+ 84	509	466	▲ 43	1,030	1,072	+ 41	1,008	+ 63	1,987



事業化が進展している市場

宇宙・防衛

先端光計測

美容

光学部品

中長期的な成長が期待される市場

パワー半導体

量子

データセンター

スマートグリッド

新領域事業についてご説明いたします。

新領域事業の上半期売上高は、10億7,200万円となりました。予想対比4,100万円の増収、前年同期比6,300万円の増収となりました。

Raicol社の売上高減少分は、オキサイド単体の新領域事業の売上高で補いました。

新領域 | SiC事業の進捗

OXIDE

- オキサイドパワークリスタル社が幹事を務めるコンソーシアムは、革新的な溶液成長法とAIデジタルツインを駆使し、6インチp型SiCウエハ試作に成功しました。※1
- 世界最大級のSiC国際会議「ICSCRM2025」にて成果を発表し、国際的に高く評価されました。
- 本成果により、直流送電・データセンター電源など、次世代社会インフラを支える材料技術の扉を開きました。

p型SiCウエハ開発で6500V超 IGBT実現へ

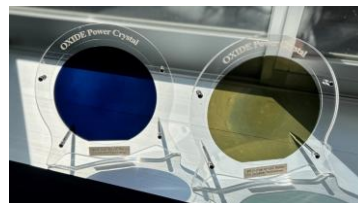
- ・ 6500V超の超高耐圧IGBTには高品質なp型SiCウエハが不可欠
- ・ 従来の昇華法では大口径化やドーピング制御に限界がありp型SiCの製作は困難
- ・ 独自の溶液成長法によりp型SiCウエハの試作に成功、直流送電等への応用が期待される超高耐圧SiC-IGBTの開発の進展が期待される



欧州で計画されている直流送電網※2

SiCウエハの色とドーパントの関係

- ・ SiCはドーパントによる光吸収特性の違いで色が変わり、n型ウエハは琥珀色、p型ウエハは青色を示す
- ・ 青色を示すp型SiCウエハ試作に成功



6インチp型ウエハ(左) 6インチn型ウエハ(右)

※1 本成果は、NEDOグリーンイノベーション基金事業「次世代デジタルインフラの構築」プロジェクトの一環として実施されたものです。

メンバーは株式会社オキサイドパワークリスタル、マイボックス株式会社、株式会社UJ-Crystal、アイクリスタル株式会社、産業技術総合研究所、名古屋大学です。

※2 国際環境経済研究所Webサイト https://ieei.or.jp/2023/05/santo_20230518/

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

11

次にSiC事業の進捗についてご説明いたします。

オキサイドパワークリスタル社が幹事を務めるコンソーシアムは、革新的な溶液成長法とAIデジタルツインを駆使し、6インチp型SiCウエハ試作に成功しました。

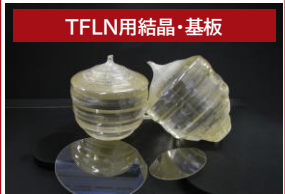
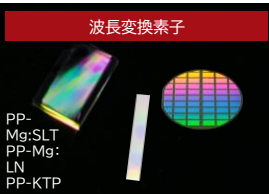
世界最大級のSiC国際会議「ICSCRM2025」にて成果を発表し、国際的に高く評価されました。

本成果により、直流送電・データセンター電源など、次世代社会インフラを支える材料技術の扉を開きました。

新領域 | 量子分野の取組み

OXIDE

- NEDOが公募した「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」において、「光量子コンピュータ産業化に向けた TFLN（薄膜ニオブ酸リチウム）※1 光技術の研究開発」に当社が採択されました。
- TFLNは従来の光学素子の性能を大幅に向上させる光学材料として注目されており、光量子コンピュータ開発の鍵となる材料です。
- 当社のコア技術である光学単結晶の育成技術を活用し、量子分野において最上流に位置する高品質なTFLN用の基板材料技術確立を目指してまいります。

本事業の対象	現在の製品ポートフォリオ		
TFLN用結晶・基板 	波長変換素子  PP-Mg:SLT PP-Mg:LN PP-KTP	量子もつれ光子対光源モジュール  EPS-SNα series Sagnac type module	量子コンピューティング用レーザ 
川上(応用範囲が広い)	量子分野における応用の汎用性		川下(特定分野で高い付加価値)

※1 ニオブ酸リチウムという結晶をナノレベルまで薄く加工した新素材で、光信号を非常に効率よく制御できる特性を持ちます。
従来材料よりも低い電力で、より高速かつ小型の光通信デバイスを作ることができ、光通信や光量子コンピュータの中核技術として注目を集めています。

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

12

次に量子分野の取組みについてご説明いたします。

NEDOが公募した「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」において、「光量子コンピュータ産業化に向けた TFLN 光技術の研究開発」に当社が採択されました。

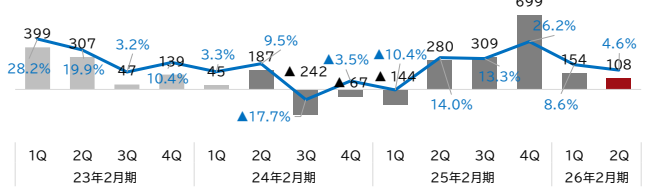
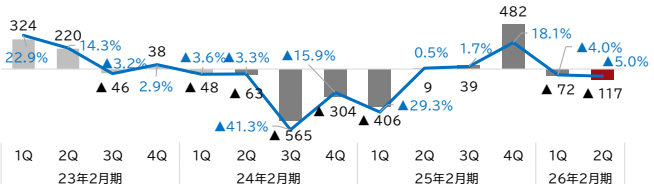
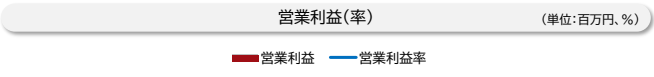
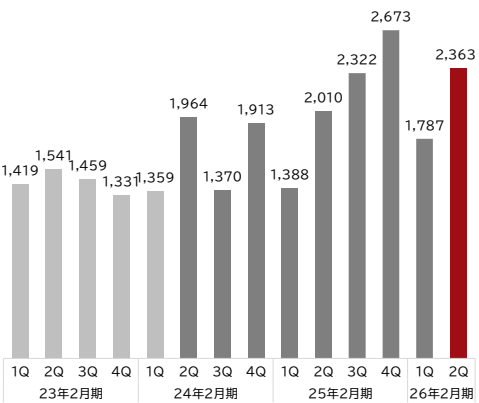
TFLNは従来の光学素子の性能を大幅に向上させる光学材料として注目されており、光量子コンピュータ開発の鍵となる材料です。

当社のコア技術である光学単結晶の育成技術を活用し、量子分野において最上流に位置する高品質なTFLN用の基板材料技術の確立を目指してまいります。

Appendix

財務トレンド

OXIDE



Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

OXIDE

ディスクレーマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

豊かな未来を光の技術で実現する

<https://www.opt-oxide.com>

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.